

# 広島交響楽団

## 被爆75周年 2020「平和の夕べ」コンサート～Music for Peace～

Beethoven's 250th Anniversary / 2016-2020 and beyond Project  
HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA  
An Evening of Peace Concert ~Music for Peace~



メゾ・ソプラノ：藤村 実穂子  
Mezzo Soprano : Mihoko Fujimura

ピアノ：萩原 麻未  
Piano : Mami Hagiwara

指揮：下野 竜也  
Conductor : Tatsuya Shimono

### 2020 8/5 水・6 木

18:45開演 (17:45開場)

Wed August 5, 2020 / Thu August 6, 2020  
Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

#### 藤倉大：ピアノ協奏曲第4番《Akiko's Piano》

藤倉大の作曲意図はこちらのQRコードからご覧いただけます。(英語・日本語の順で表示されます)

[https://www.daijufukura.com/program\\_akikos\\_piano](https://www.daijufukura.com/program_akikos_piano)



#### Program

ペンデレツキ：シャコンヌ (ポーランド・レクイエムより)  
Penderecki : Chaconne (Polish Requiem)

藤倉大：ピアノ協奏曲第4番《Akiko's Piano》(広響委嘱・世界初演)  
Dai Fujikura : Piano Concerto No.4 "Akiko's Piano" (World Premiere)

ベートーヴェン：カヴァティーナ (弦楽4重奏曲第13番より弦楽合奏版)  
Beethoven : Cavatina (from String Quartet No.13 in B-flat major Op.130)

マーラー：亡き子をしのぶ歌  
Mahler : Kindertotenlieder

J.S.バッハ (齋藤秀雄 編曲)：シャコンヌ (パルティータ第2番ニ短調BWV1004より)  
J.S.Bach : Partita No.2 in D minor BWV1004, Chaconne (arr.by Hideo Saito)

※当初予定のプログラムから曲目、出演者等が変更となっております。

コンサートマスター：佐久間 聡一、蔵川 瑠美  
Concertmaster : Soichi Sakuma, Rumi Kurakawa

- ◆チケット発売日/会員先行発売：2020年7月1日(水) (9:00～広響事務局のみ)、一般販売：7月6日(月)
- ◆チケット料金/S:5,000円 A:4,000円(学生:2,000円) ※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)
- ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※開演時間に遅れてご来場の場合は、入場に制限がございます。(係員の指示に従ってご入場ください。)
- ◆プレイガイド/広響事務局、JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、チケットぴあ(Pコード175-011)、ローソンチケット(Lコード62804)

■主催/文化庁・公益社団法人 広島交響楽協会・広島市・公益財団法人 広島市文化財団・中国新聞社  
■協力/KAJIMOTO ■助成/公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

お問い合わせ/広響事務局 TEL.082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>



# 被爆75周年 2020「平和の夕べ」コンサート

## ～Music for Peace～

藤倉大がひとりの少女の人生に想いを寄せた新作ピアノ協奏曲の初演をマルタ・アルゲリッチからのバトンを受けた萩原麻未が奏で、藤村実穂子のマーラーは尊き生命への祈りとなる。過去と未来を見つめた下野竜也が捧げる慈愛に満ちたプログラム。



指揮：下野 竜也  
Tatsuya Shimono

### Message

皆様、いかがお過ごしでしょうか。予想だにできなかった状況が我々に立ちまはりこの数ヶ月、日常というものが奪われた事態となっております。今後も予断を許さない状況が続きますが、皆様のご健康とご無事をお祈り申し上げます。

私たち広響も2月末の演奏会以来、オーケストラとしての音を一言も出せずにおりました。その様な中、変わらずご声援、ご支援を賜りました事、心から感謝申し上げます。皆様自身大変な状況でもあるにも関わらず、広響に愛情を注いでくださる事に決って甘える事なく、今後の活動を精一杯展開していく事を約束致します。

毎年行っている平和コンサートは、広響にとりましても平和祈願の非常に重要な時間であり、広響が設立された時の思いに改めて思いを馳せる時間だと私は考えています。破壊されたこの街に音楽の灯火をつけた先人たちの思いを。

今年の平和コンサートは、特別なプログラムでお届けする予定でしたが、大幅な変更をさせて頂きました。皆様が大変な事にさらされ注目下さっていた、マルタ・アルゲリッチ氏をはじめとする海外からの音楽家の皆さんの来日が不可能となった事や、この感染症により大きな合唱を伴う作品の演奏を取り止めざるを得ない理由によるものです。藤倉大氏のピアノ協奏曲第4番「明子さんのピアノ」の初演で何気ない日常の尊さに耳を傾け、不朽の名作「第九」で平和を讃えるプログラムの筈でしたが、急遽新作に挑んで下さる萩原麻未さん、ご出演を引き続き快諾して下さいました藤村実穂子さん、ご協力を得て今回のプログラムをお届けします。

シャコンヌは元来踊りの音楽から派生したのですが、2人の大作曲家の調べには「祈り」を感じます。平和コンサートでは、皆さんと静かに祈りの時間を共有出来ます事を願っております。

広島交響楽団音楽総監督  
下野 竜也

### Profile

ピアノ：萩原麻未  
Mami Hagiwara

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝となった。広島県出身。第27回パルマードーロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルト音楽院を卒業。現在、日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。これまでに、NHK響、大阪フィルといった国内主要オーケストラのほか、ジョナサン・ノットら数々の著名な指揮者とも共演。パスカル・ロフェ指揮/スイス・ロマン管、フランス国立ワール管、フランスワグザヴィエ・ロト指揮(関西ドイツ放送響、リュウ・シャオチャ指揮/フィルハーモニア台湾、ディートリヒ・パレーデス指揮/エル・システマ・ユース・オーケストラ・オブ・カラカスなどとも共演を重ねている。また、スイスのグシュタード・ニューイヤール・フェスティバル、ジュラ・フェスティバル、フランスのペリグー・ノワール・フェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン、ラ・フォル・ジュルネ(ナント/日本)等の様々な音楽祭に招かれる。近年では広島市民賞のほか、ひろしまフェニックス賞特別賞、ミュージックペンクラブ・新人賞、第13回ホテルオーケラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、第46回東燃ゼネラル音楽賞(奨励賞)など多数受賞。メディアでは「題名のない音楽会」「らららクラシック」「クラシック倶楽部」「名曲アルバム」等のテレビ、ラジオ番組にも多数出演している。



©Marco Borggreve

### Profile

メゾ・ソプラノ：藤村 実穂子  
Mihoko Fujimura

ヨーロッパを拠点に国際的な活躍を続ける、日本を代表するメゾ・ソプラノ歌手。主役級としては日本人で初めてバイロイト音楽祭にデビューし、フリッカ、グンドリ、ブランゲネ、ワルトラウテ、エルダなどの主役で9シーズン連続で出演し、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場、パリ・シャトレ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ヴェローナ歌劇場、バルセロナ・リセウ歌劇場、ザルツブルグ祝祭大劇場等に出演の他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ロンドン交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、聖チェチーリア国立音楽院管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団等の世界的なオーケストラ、クリスティアン・ティーレマン、クラウディオ・アバド、ズービン・メータ、クリストフ・エツェンバツハ、リッカルド・シャイ、マリス・ヤンソンス、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼ＝セガン、ダニエレ・ガットイ、グスターボ・ドゥガメル等の著名指揮者とも共演している。またブランゲネ役でブラシド・ドミンゴとのCD録音「トリスタンとイゾルデ」(EMI社)でも各方面より注目を浴びた。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院及びミュンヘン音楽大学大学院修了。'02年出光音楽賞、'03年芸術選奨文部科学大臣新人賞、'07年エクスンモービル音楽賞、'13年サントリー音楽賞、'14年紫綬褒章をそれぞれ受賞。



©Edd Royal

被爆75年  
事業への  
ご寄付のお願い

被爆から75年目を迎える本年、8月の「平和の夕べ」コンサートを2日間にわたる特別な企画とし、12月には被爆75年特別定期演奏会を開催し、平和を讃えるメッセージを音楽に託して発信してまいります。何卒取り組みの趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付の種類 [法人] 10,000円 / 口 [個人] 1,000円 / 口

【公演概要】

- 「平和の夕べ」コンサート～Music for Peace～ 8月5日(水)、8月6日(木) 広島文化学園HBGホール
- 被爆75年 特別定期演奏会 12月10日(木) 広島文化学園HBGホール

詳しくは広響事務局までお問合せください。TEL.082-532-3080

## 広島交響楽団 “Music for Peace”

### — 平和の祈りと未来への希望

国際平和文化都市「広島」のオーケストラ、広島交響楽団が世界各地の音楽家と共に戦後75年とベートーヴェン生誕250年とが交錯する2020年とその先の未来に向けて、音楽による安寧の祈りと未来への希望のメッセージを世界に向けて発信するために2016年度より取り組んでいる事業です。

### — 事業の指針

- 日本国内そして世界に向けた平和のメッセージと文化発信を行います。
- 国内を代表する音楽評論家を招き、広響の活動を広く紹介します。
- インターネットライブ配信により、海外への情報発信も積極的に行います。



Music for Peace  
Concert

以上の事業指針のきっかけとなったのは、ショパン国際ピアノコンクールで深くポーランドと係わりを持ち、「原爆投下とホロコーストを第2次世界大戦でもっとも恐ろしい犯罪」とし、「Music Against Crime」「音楽は人を愛することを育み、人を傷つけさせる気持ちを萎えさせる力」と言うマルタ・アルゲリッチ氏(広響平和音楽大使)の信念と当団のテーマ、「Music for Peace」が共感したこと因ります。